

7. 水口、岩上地域

(1) まとめ

- 区・自治会と自治振興会の距離が遠いと感じている。
- 持続可能な地域づくりを見据えて、区・自治会と自治振興会の役割を明確にしたほうがよい。区・自治会では対応できない課題を自治振興会で対応ができるように組織の見直しを検討している。
- 自治振興会の事務局体制を強化するための財政的支援や地域の集会所の修繕に対する支援の拡充についての意見があった。



(2) 個別意見（抜粋）

- ①区・自治会と自治振興会との距離が遠いと感じている。もう少し身近に感じられて、相談などがしやすい関係を築きたい。
- ②1年ごとに交代する区長が中長期的にまちづくりを考えるのは難しい。
- ③来年度からまちづくり協議会への移行を予定しているが、持続可能な事務局を構築するため、人件費をしっかりと用意してほしい。
- ④自治振興会に関心のない区長も多い。市が強いリーダーシップと継続性を持って、職員が地域に出向いて説明していくべき。
- ⑤若者や子育て世代に住み続けていただくため、交通インフラ（特にJR草津線）の整備を重点的に取り組んでほしい。
- ⑥地域のゆるいつながりをつくれば、若者も定着しやすいのではないかと。
- ⑦区・自治会活動の出役や役員業務等の負担が大きいことを理由として、若者が住まなくなっている。
- ⑧地域の集会所の修繕に対する支援を拡充してほしい。区民が区費から費用を負担しあって修繕することに限界がある。
- ⑨市税収入も減っていくことが見込まれている。子どもたちの将来のために、学校の統廃合を進めてほしい。